

## 授業改善推進プラン

### 【国語科】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字学習など、基礎的な学力定着のための学習に取り組む習慣が ついていない。</li> <li>・文章を読むことに対し、抵抗感を持っている生徒が多い。</li> <li>・原稿用紙の使い方が定着していない。</li> </ul>	<b>【短期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない漢字は国語辞書を使って調べるように指導する。</li> <li>・単元に応じた200字作文に継続的に取り組む。</li> </ul>
		<b>【中・長期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回の漢字学習や、漢字テスト・テスト直しを継続させ、 学力の定着に結び付ける。</li> </ul>
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査での漢字問題の正答率について、半分（50％）に満た なかった生徒が1学期は約60％、2学期は約40％いた。</li> <li>・作文問題については文頭と文末がねじれたり、使用する品詞に 呼応した書き方ができていなかったりする。また、既習漢字を平 仮名で書く生徒も多い。</li> <li>・書く能力をはかる設問に取り組まない生徒がみられる。</li> </ul>	<b>【短期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の復習を取り入れ、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・個別指導によって個人の課題を見つけ改善していく。</li> </ul>
		<b>【中・長期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の毎回の漢字学習を継続させ、学力の定着を図る。</li> <li>・作文指導を計画的に行い、丁寧に添削をして課題を提示する。 文章を書くことを習慣にし、抵抗感や苦手意識をなくす。</li> </ul>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を考えて書くことができない。</li> <li>・同音異義の漢字を誤って覚えている。</li> </ul>	<b>【短期】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始めに漢字学習の時間を設ける。</li> </ul>
		<b>【中・長期】</b>